

◆NEW

日販が発表した12月29日～1月3日の売上げ動向は、「書籍」が前期比5.8%減、「雑誌」が同11.8%減、合計では同8.8%減と前年とは一転、2桁に迫るマイナスとなった。

書籍のジャンル別では「書籍コミック」が同2.5%増となった以外、9ジャンルすべてでマイナス。「文芸書」(同17.9%減)、「ビジネス書」(同 11.7%減)の落ち込みが目立つ。

また、雑誌のジャンル別では、「週刊・隔週刊」が同2.5%増となったが、そのほかは前年を下回った。とくに「コミック」は同 23.5%減と大幅に落ち込んだ。

ここで、昨年末に発表された日販の中間決算を見ると、売上高2863億円、前年比3.1%減、純利益11億円、前年比67.1%増の減収増益となっている。日販と業界を二分する取次大手のトーハンも、売上高2385億円、前年比4.1%減、純利益12億円、同3.5%減の減収減益となっている。

両社とも2000年には通年8000億円を超える売上高があったことを思うと、出版不況はますます深刻化しているのがわかる。もはや、この業界は縮小を重ねていくしかない。

じきに、出版科学研究所から2011年度の出版物販売のデータが出るが、2011年11月の出版物販売推定金額は前年比4.7%減の1409億円。また、2011年1月から11月の累計は同比3.8%減、通年で700億円マイナスの1兆8050億円前後となっている。毎年毎年500億円～1000億円が失われている傾向は変わらない。

今年は、欧州危機、空前の円高、国内企業の空洞化、増税など、過去に類を見ないマイナス要素が重なるので、出版不況は泥沼化するだろう。

■	販売ルート別推定出版物販売額	年間推移(百万円)
---	----------------	-----------

年

書店

CVS

インターネット

駅売店

生協

スタンド

割販

合計

2001

1,655,258

490,079

—

105,345

50,497

31,987

7,000

2,340,166

2002

1,628,944

489,276

—

96,366

50,500

30,196

7,000

2,302,282

2003

1,619,201

463,831

—

92,254

50,000

28,656

5,900

2,259,842

2004

1,624,879

447,091

—

81,187

48,969

27,711

3,200

2,233,037

2005

1,603,619

439,171

—

74,873

47,500

26,685

2,934

2,194,782

2006

1,596,433

425,326

—

67,638

42,231

25,058

2,442

2,162,636

2007

1,501,878

382,217

93,200

67,644

42,000

23,230

—

2,110,169

2008

1,467,849

354,654

101,200

63,605

41,600

21,557

—

2,050,465

2009

1,426,829

312,413

113,400

59,529

40,768

20,307

—

1,973,246

2010

1,401,681

285,984

128,500

53,397

39,773

19,291

—

1,928,626

『出版ニュース』 『新文化』 より